

としまち研会報 第114号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

映画『ラーグリーより愛を込めて』を鑑賞して

この映画は、7月5日と11月15日に開催した講演会の呼びかけ人の一人である山本厚生さんのお父さん：山本幡男さん（以下、「山本」という。）を主人公にした〈愛の実話〉です。12月9日から一般上映が始まりますが、私はJR東日本「大人の休日倶楽部」に入会していた関係で、会員限定の特別試写会に応募・当選しましたので、一足先に映画を観ることができました。

ストーリーは第二次大戦の終戦時、中国北東部にいた敗戦国日本の山本らがソ連（現ロシア）に連行され、シベリアの強制収容所（ラーグリー）に収容されました。「劣悪な環境下では、日本人同士の争いも絶えなかった。戦争で心の傷を負っている者、旧日本軍の階級を振りかざし続ける者、過酷な状況下で変わり果ててしまう者…。山本は彼らを分け隔てなく励まし続けた。更に、青年たちには学問を教え、希望を唱え続けた。そんな彼の仲間想いの行動と信念は、凍っていた捕虜たちの心を次第に溶かしていく。…8年が経ち、山本に妻からの葉書が届く。厳しい検閲をくぐり抜けたその葉書には“あなたの帰りを待っています”と。山本は涙を流さずにはいられなかった。誰もが帰国（ダモイ）の日が近づいていると感じていたが、その頃には彼の体は病魔に侵されていた。体はみるみる衰えていくが、愛する妻との再会を決してあきらめない山本。（映画のチラシより引用。）」ラーグリーの仲間たちは、山本に遺書を書くことを勧め、仲間4人でその遺書を4分の1ずつ記憶。山本はラーグリーで1955年に亡くなり、仲間たちは、その1年後の1956年に日ソ共同宣言が調印されたことに伴い帰国することができました。4人は、それぞれ記憶した遺書の4分の1を紙面に書いて、山本の留守宅の妻（モジミさん）にそれぞれ届けました。こどもたち4人も父（山本）の想いを知ることになります。

…という感動的な物語です。来年の1月か2月に講演会を行い、山本厚生さんにお話をしてもらいます。皆さんも12月9日から一般公開される映画をご覧ください。是非、講演会にも参加してください。（としまち研理事長 杉山 昇）



おいらのひとりごと

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

「22年前のとしまち研を振り返って」 平野 武洋

としまち研は、平成12年7月25日発起人会、（以降同年）8月4日設立総会、8月8日東京都へNPO法人認証申請、11月15日東京都知事認証、とあります。振り返れば、同年には、シドニーオリンピックで女子柔道田村亮子選手、女子フルマラソン高橋尚子選手が金メダル受賞のニュース。光陰矢の如し、昨日のように鮮やかに感じられます。

としまち研の第1回通常総会は平成13年5月17日に開催されました。現在はとしまち研自前の会議室にて当たり前のように開催されますが、当時は千代田区神田公園区民館の一室をお借りしての開催でした。その中の活動報告で、理事会3回開催、共同建替え部会3回、コーポラティブ住宅部会1回、車椅子障害者のための住宅部会1回とありました。

特筆すべきは、コーポラティブハウス神田東松下町（現・COMS HOUSE）の取り組みです。当初は会内外に「実現は難しい」との意見も多々あったようですが、11月23日に参加申込み受付開始、12月3日には建設組合の設立に漕ぎつけました。多くの皆さまのご支援をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

*次号の「ひとりごと」は坂口 耕司さんです。お楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第323回一木会（2022.10.20）

伊藤純一氏（一般社団法人ジャパンベジタブルコミュニティ理事）に「屋上は都会の豊富な資源。屋上菜園を楽しみましょう！」をテーマにお話し頂きました。ストレスの多い都会生活、豊富にある屋上スペースの活用で野菜栽培。陽・風・四季を感じながら面倒をみることで心の安らぎと協力しあう素敵なコミュニティを育てていこうという情熱に感動しました。



☆第324回一木会（2022.11.10）

杉山昇氏（NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事長）による「高齢者のコミュニティハウス（つながりの家）構想について」のお話でした。奈良県にある「コミュニティハウス法隆寺」の実例を紹介しながら、到来する超高齢社会への力強い提案でした。久々に理事長自らのスピーチでリモートでも多くの方が参加して下さい、構想の展望に未来への広がりを感じました。



☆第325回一木会（2022.12.1）

村島正彦氏（studio harappa 代表、NPO暮らしと住まいネット副理事長、NPOコーポラティブハウス全国推進協議会副理事長）にお話し頂きました。テーマは「世田谷線沿線～昭和からの商店街と新感覚の個人店が交じり合う注目のエモい街～」。狭い道幅が地域のふれあいを手助け、若者中心に多くの住人参加のプロセスなど私達の知らないエピソード満載で楽しいお話でした。



今後の一木会予定（会場+オンライン）

☆2023年1月（1月19日）【第326回一木会】 ※第三木曜日です。

テーマ：「終末期医療の現状と課題ー在宅死のすすめー」

ゲスト：小澤 邦寿 氏（医学博士・こざわクリニック院長）

としまち研会員交流イベント「屋形船の会」開催報告

11月18日（金曜日）、総務広報部会主催のとしまち研会員交流イベントとして「屋形船の会」を開催しました。コロナ禍になってからとしまち研では様々な活動が制限されてきましたが、徐々に対面での打合せやミーティングが再開されてきたことを踏まえ、参加して下さった皆様には事前にPCR・抗原検査を実施して頂いた上で、久しぶりの企画を実施することができました。

私は生まれて初めて屋形船に乗船で、お刺身やおでん、揚げたての天ぷらとお酒で舌鼓。好天にも恵まれ、お台場や東京スカイツリーの夜景も楽しめました。マスク越しではなく皆様の顔を見ながらお話しができ、短い時間でしたがコロナ禍以前の生活に少し戻れたように思えました。

感染の第8波が年末から年明けにかけて到来するとも言われていますが、健康に気をつけながら日々を過ごし、また様々な企画を開催できればと考えております。今回ご都合の合わなかった方も、是非次回は参加をご検討いただければと思います。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました！

（としまち研総務部会長 五十嵐 一博）



久しぶりの1分間スピーチ



お台場の夜景



東京スカイツリーの夜景

「セレッソ大和田」竣工、見学訪問しました

2019～2021年にとしまち研で建設組合設立までのコンサルティングを行った、埼玉県さいたま市の土地区画整理事業によるマンション移転事業で、移転先にマンション「セレッソ大和田」が無事竣工しました。

コロナ禍により進捗が滞った時期もありましたが、住民ヒアリングや説明会を重ね、全員同意で建設組合が設立されました。その後の工事段階でも、短い工期や昨今の物価上昇など困難が多々あったと思いますが、設計施工の山一建設の多大なる尽力もあり、無事竣工を迎えたとのことで、建設組合理事長と山一建設社長のご案内付きで見学させていただきました。

現在では不可能に近いローコストな事業でしたが、それを感じさせない仕上がりに驚きました。他の理事の方もお見かけしましたが、皆さん少しほっとして肩の荷が下りたような印象でした。

まだ移転前の建物の解体工事が残っていますが、22年という長い月日に渡る移転事業が皆さんの費用負担も少なく完成して良かったです。

(としまち研理事 田辺 誠史)



移転先に竣工した建物の全景

としまち研会議室の活用アイデア募集中！

としまち研が第1号プロジェクト「COMS HOUSE」の2階に事務所を構えてから20年が経過しました。事務スペースに隣接する会議室（約54㎡）は、としまち研の総会・理事会・部会、一木会や勉強会、取り組みに関わる打合せやイベントの他、地元の東松下町々会やとしまち研とお付き合いのある団体などにも利用させていただいており、としまち研の幅広い活動やネットワークを支える重要な拠点として活躍しています。

しかし、2020年初頭から新型コロナウイルス発出と感染拡大の長期化、それに伴うリモート会議の普及により、対面での会合は激減しました。そのような中、外出控えによる体力の低下や他者とのコミュニケーション不足、とくに高齢者においては認知症状の悪化など、様々な影響が社会的にも問題視されています。

としまち研の会議室も利用頻度が減り、維持していくのも経済的には大変ですが、会員や地域の皆さまがもっと気軽にとしまち研に関わったり、楽しみながらコミュニティが活性化するような会議室の活用方法を総務広報部会中心に模索しています。そこで、第1弾として年明けに「写経会」を企画中です。皆さまも興味や特技にまつわる情報（これから学びたいことでもOK!）や、会議室でこんなことをやってみたら?というアイデアなどがありましたら、ぜひ事務局までお知らせください。(としまち研事務局 関 真弓)

「おいらのしごと」 としまち研会員がふだんどのような仕事をしているか紹介するコーナーです。

主に住宅系の建物（戸建住宅から共同住宅、シェアハウスなど、また新築だけでなく増改築、リノベーションなども）の設計監理に携わりながら、現在、設立より15年目となりました。

昨年は他事務所と共同で宿泊施設にかかわる機会に恵まれました。設計中にコロナ禍となり計画の存続も危ぶまれましたが、建築主と事業主の熱意により実現に至りました。

その建物は「ゲストハウス酒坊 多満自慢」といい、一風かわったところに建っています。東京都福生市の拝島駅より徒歩約15分の多摩川の近くに、文久3年(1863)より続く酒蔵「石川酒造」があります。敷地内には明治13年築の本蔵を始め、国の登録有形文化財に指定された建物が6棟もあり、「酒飲みのテーマパーク」を主題にかけて日本酒の普及や地域への貢献にも勤しんでおります。その一角を担う施設としてゲストハウスも建てられました。酒蔵の見学（現在、一時休止中）やイベントを体験できたり、レストランや酒蔵の歴史に触れられる史料館などもあります。少し日常を離れた場所で美味しいお酒と食事を嗜み、気持ちの良いままゲストハウスでバタンと寝てしまう、などという休日はいかがでしょうか。



・石川酒造：<https://www.tamajiman.co.jp>

・ゲストハウス酒坊 多満自慢：<https://www.shubou-tokyo.jp>（島田信弘建築設計事務所 島田信弘）

としまち研掲示板

▼ 講演会の報告 ▼

11月15日(火)万世橋区民館にて大河内 秀人氏(見樹院住職)による講演会を開催しました。テーマは「関東大震災犠牲者100回忌を供養して～デマによる虐殺から今と未来を考える」でした。大河内氏は26歳で住職となり、NGOスタッフとしてカンボジアやルワンダなどの紛争地の人々と出会い、戦没者を供養して現在に至ります。「民族や宗教にかかわらず暴力や憎悪を乗り越え平和な未来を築こうとする取り組みに希望を見出している」と熱く語られていたことが強い印象でした。

これからも心の平和を日本だけでなく世界に向けて見樹院から発信し続けてほしいです。



講演会の様子

▼ としまち研 部会などの開催予定 ▼

コーポラティブハウス部会	12/14 (水) 18:00 ~
マンション再生部会	1/23 (月) 16:00 ~
人と暮らし部会	1/16 (月) 18:30 ~
総務広報部会	
としまち研理事会	1/26 (木) 18:30 ~

※部会やイベント等につきましては、としまち研の会員メーリングリストで配信される案内をご確認ください。

『2022マンション再生連続勉強会』開催中!

今年度もマンション再生部会主催で2つのテーマを設定し、連続勉強会を会場+オンライン(zoom)併用で開催しています。会員以外の方も大歓迎です。ぜひご参加ください!

.....

【各テーマ 次回勉強会のご案内】

テーマ①『マンションが被災したら・・・

被災時の対応と事前対策』

〔第4回〕12月15日(木) 18:30~20:00
「これまでのふり返りと団地での対策について」
お話：大木 祐悟さん(としまち研理事)

テーマ②『建物や設備の性能や寿命の考え方』

〔第4回〕1月12日(木) 18:30~20:00
※参加者の皆さまからの質問に答える回(予定)

.....

*来年度(2023年度)の連続勉強会も企画中です。マンションについて関心をお持ちのことやお悩み事などがございましたら、ぜひとしまち研事務局までお知らせください。

「KANDALネッサンス」(NPO神田学会発行) 115号に『神田珈琲園』の記事が掲載されました!

オーナー八戸さんと設計の牧野さんが取材を受けて、記事が掲載されています。事務局に数部ありますので、ご希望の方はぜひご覧にいらしてください。



□編集後記

'22年もあと数週間で終わりですね。会員の皆さんの一年はいかがだったでしょうか。編集の手伝いをはじめて無事3回目発行です。イベントの仲間にも入れて頂き、漸くお顔と名前が一致する状態になってきました。次号編集もご指導よろしく!

迎へます新年が皆様にとって幸多き年でありますように!そして楽しいX'masを!

*写真は私の造形作品の一つであづま総合運動公園中央広場(福島県)のモニュメントです。 諏訪



〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL: 03-5207-6277 FAX: 03-5294-7326
E-mail: info@tmk-web.com ホ-ム-ペ-ジ https://www.tmk-web.com/
Facebook: https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員49名 賛助会員25名
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 諏訪 恵里子

